

No.159

# さい議会だより



バナナおいしい！（福浦小中学校学芸会 小学生劇「パンナナと殿様 2012」）

9月定例会

平成23年度決算を認定 … 2, 3 ページ

見守りシステムの改善を … 8 ページ

一般質問に2人登壇 … 10～13 ページ

# 平成23年度決算 総額38億円を認定

## 平成23年度各会計の決算

会計	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	基金繰入額
一般	29億467万円	28億3777万円	6690万円	3005万円
特別会計	簡易水道	1億68万円	1億68万円	0円
	下水道	1億6493万円	1億6493万円	0円
	国民健康保険	4億974万円	4億804万円	170万円
	介護保険	2億7449万円	2億6333万円	1116万円
	後期高齢者医療	2214万円	2181万円	33万円
合計	38億7665万円	37億9656万円	7999万円	
平成22年度決算	40億299万円	39億2101万円	8198万円	

平成二十四年第三回定例会は、九月四日から六日までの三日間の会期で行われました。村長から、報告三件、決算認定六件、補正予算案五件、人事案など一件、その他一件の計十六件、議員から議会に関する規則案など二件が提出され、それぞれ全会一致で原案どおり決しました。

## 平成23年度 決算審査報告 自主財源確保に積極的な取り組みを

現下の厳しい経済状況の中、歳入においては地方交付税が前年度より減額交付となり地方交付税に依存している当村にとって、財政状況は予断を許さない状況に変わりはありません。そ

れで、歳入においては、徴収率は前年度と比較し、一・九パーセントの増であったが、長期化する不景気によつて所得が低下し、税収の伸びは期待できず、奨学資金等の収納状況を向上させるなどして少額であつても自主財源の確保に向けて積極的な取り組みを強化していただきたい。

一方、歳出においては、引き続き事務事業全般にわたり工夫を凝らし、経費の節減に努めていただきたいことを要望いたします。

最後に、平成二十三年度決算に係る健全化判断比率等について報告いたします。

決算に係る健全化判断比率等について報告いたします。

実質公債費比率及び将来負担比率とも早期健全化基準を下回り、また平成二十二年度と比較しても比率が減少しており、当村の財政の健全性は保たれていると判断できます。どうか今後においてもなお一層財政健全化に向けた諸般の取り組みをしていただきようお願いをします。

決算審査報告といたしまして、決算審査報告といたしまして、決算審査報告をする奥本代表監査委員



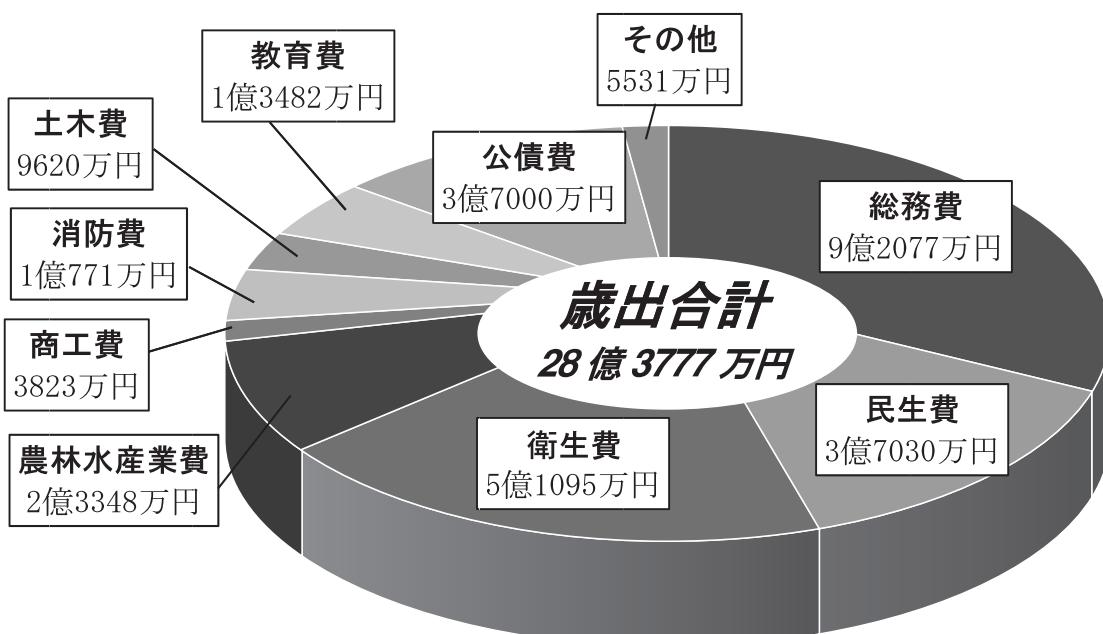
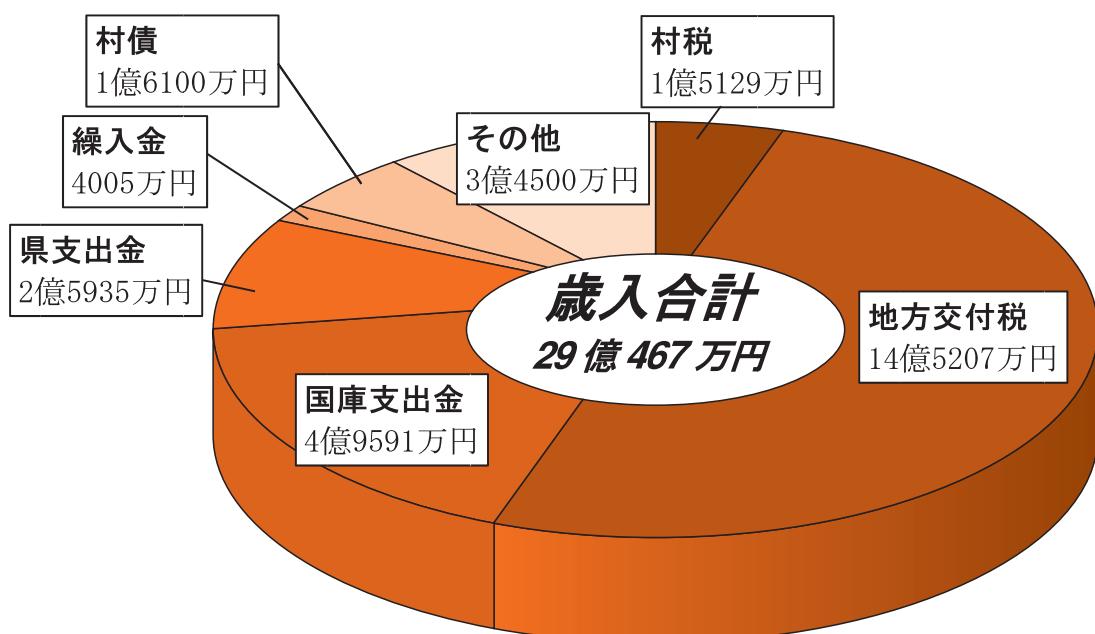
## 平成 23 年度一般会計(歳出総額)

# 28億3777万円

決算規模は、歳入 29 億 467 万円（前年度 30 億 2290 万円）、歳出 28 億 3777 万円（前年度 29 億 5584 万円）となりました。

増減率は、歳入 3.9% 減（前年度 4.9% 減）、歳出 4.0% 減（前年度 4.4% 減）となり、歳入歳出ともに前年度を下回る決算となりました。

歳入（財源）	29億 467万円
歳出（使い道）	28億3777万円
繰 越 金	679万円
実質収支	6011万円



## 各会計補正予算案を可決

# 保育所・小中学校へ発電機を整備

### 補正予算の内容

会 計	補 正 前	補 正 額	計
一般会計	24億3113万4千円	△437万3千円	24億2676万1千円
	シライン(株)欠損補助金 災害対策事業(施設への発電機整備) 平成23年度佐井地区診療所欠損金補填分	2144万2千円 175万0千円 720万7千円	ほか
特 別 会 計	下水道 国民健康保険 介護保険 後期高齢者医療	1億7232万5千円 4億4020万7千円 2億6596万0千円 2323万4千円	274万6千円 1280万8千円 531万7千円 39万0千円
			1億7507万1千円 4億5301万5千円 2億7127万7千円 2362万4千円

### 議員提出議案

○ 地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書(案)

近年、森林のもつ地球温暖化の防止や国土の保全、自然環境の保持など森林の公益的機能に対する国民の関心・期待は大きくなっている。また、地球温暖化防止のための温室効果ガスの削減は地球規模の重要な課題である。

しかし、林業を取り巻く環境は依然として厳しい情勢にあり、山村地域の市町村は森林・林業の活性化に懸命に取り組んでいるが、危機的な市町村財政の状況から恒久的・定期的な財源は大幅に不足している。

このような中、「地球温暖化対策のための税」が本年十月に創設されるが、地球温暖化対策に関する地方の財源確保については、「検討」という表現で留まっている。最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する

市町村の役割を踏まえ、「地球温暖化対策のための税」の一定割合を森林面積に応じて譲与する「地方財源を確保・充実する仕組み」を早急に構築することを求めるとともに、関係機関に意見書を提出するものである。

### 再任 固定資産評価審査委員 大石光範さん



大石光範さん  
(古佐井)

固定資産評価審査委員  
大石光範氏の任期が平成二十四年九月十六日で満了するため、引き続き同氏を固定資産評価審査委員に任命することに全会一致で同意しました。

## 予算・決算・条例等審査特別委員会

**前年度比 2.5 %の減**

# 村税增收のための対策は

竹内典和委員

平成二十三年度決算を見ると、自主財源である村税がだいぶ落ち込んでいる。

早急な対策が必要ではないか

竹内典和委員

このことについて村長はどういうに検証したのか。また、対策は考えているか。

考えはあるが  
前に進まない

村長

村税が落ち込んでいるのは、村内の景気の落ち込みと比例していると思っている。



子ども達の未来に希望が持てる村づくりを

(10月21日：佐井中学校文化祭)

景気回復は常に  
念頭に置いている

村長

早く手を打たなければまだ落ち込む可能性がある。考えているだけでなく、具体的に施策しないと間に合わないので。

今年七月に被災地である岩手県田野畠村へ出向き、復興工事の協力をお願いし、現在村内の業者が行つて働いている。

# 村の企業誘致活動状況は

宮川委員

平成二十三年度決算の企業誘致対策事業に七万円の支出があるが、企業誘致に関して何かいろいろな動きがあつたのか。

負担金の予算計上

村長

誘致対策のための県負担金である。

七万円で誘致活動はできないが、誘致したい意思、期待感を持ち、予算を若干でも持つておこうというのが主旨である。

予算を確保し  
誘致活動すべき

宮川委員

結果はやつてみないとわからないと思うが、誘致活動はやるべきと考える。

経費はかかるかもしれないが、ある程度の予算を確保やつた方がいいと思うが。

真剣に取り組み  
行動する

村長

若い人達に村内に定着してほしいし、そのためには企業誘致に真剣に取り組み、行動するつもりである。

## 全国で進む福祉避難所の指定

# 無理のない避難方法の確立を

**竹内 修委員**

東日本大震災以後、県内では災害時における要援護者の支援、また福祉避難所の確保に関する協定を締結する動きがみられているが、村の現状は。

**前向きに**  
考えている

**参事・総務課長**  
指摘のとおり、高齢者、障がい者、妊産婦、乳幼児、病弱者等の要援護者に対し、避難所において特別な配慮が必要かと思つていています。

まずは利用可能な施設を把握する

**田中副参事**

福祉避難所の設定には、対象者及び利用可能な施設の把握をしなければならない。また、利用可能な施設の中から物資・器具機材・人との整っている施設を



避難が長引けば福祉避難所の設置が必要となる

(9月30日防災訓練)

選んで協定を結ぶことになる。

関係者と協議して進めていく

**避難しやすい方法の確立を**

**竹内 修委員**

受入れする施設側にも高いハードルがあるようだが、要援護者等の体に無理のないような避難の仕方を村として推し進めてほしいと思う。

村内の福祉団体及び関係者を一堂に会し協議をして、どれがベストなのか、遅くならないうちに協議をして、進めていきたいと思っている。

### 福祉避難所とは…

災害時、要援護者は一般の避難所では生活に支障をきたすことから、一定の配慮が行われる福祉避難所が必要となる。自治体と特養施設等の施設が協定を結び、災害時に備える。

**宮川委員**

平成二十三年度決算に「森林環境保全整備事業」とあるが、この中には学校

林も入っているのか。

**旧学校林である**

**産業建設課長**

旧佐井中学校林で、場所はサノコ沢である。

今年六月に村で植樹祭を実施した場所の隣接地で、昨年除間伐と枝打ち作業を下北地方森林組合に委託し、今は村が直接管理している。

**学校林ではないのか**

**宮川委員**

とか。  
学校林ではないといふこと。

森林環境保全整備事業

**学校林は含まれているか**

**旧佐井中学校林である**

**産業建設課長**  
旧佐井中学校林であり、伐採した跡地を村が部分林契約をしている。

**赤字が続くシライン(株)**

# 経営改善へ抜本的な改革を

**坂井委員**

補正予算に、シライン

㈱に対する欠損補助金二千

百四十四万二千円が計上さ

れている。

先日、山崎社長が来村し、

会社の現状を説明していた

だいた。県の補助限度額が

三千万円となることなど、

なかなか赤字の解消にはつ

ながらないのでないかと

いう印象を受けた。

そのようなことから、心

情的には朝七時五分佐井始

発のダイヤが理想的ではあ

るが、抜本的に大胆に経営

改善を図るために、以前、

社長が取材に対し話してい

た私案も検討してしかるべき

ではないかと思うが、村

長の考えは。

井からとお願いしてきたと  
ころである。

委員の案については、九

月末の役員会で討議してみ  
たい。

**坂井委員**

ポーラスターへ対  
する苦情の認識は

今までどおりの経営改善

策では、国・県も認めてく

れるか疑問だと思う。

敢えて今までと違った形

での改善策を示すべきでは

ないかと思う。

また、ポーラスターへの

手荷物・小荷物の積み込み

に対し、以前と比べ制約が

多く不便を感じる利用者が

多いと聞くが、村長は認識

しているか。

確かに佐井始発の便には  
ほとんど利用者がないのが  
現状である。

ただ、二便運航であれば

観光客の利用が多くなるた  
め、一般開催された役員会  
で、夏場だけでも始発は佐

**村  
長**

役員会で  
討議したい

**村  
長**

早速会社へ話す

私もその話は聞いている。

早速会社に話し、改良す  
るよう手配させる。

## 山崎社長の私案とは…

今年5月の社長就任時に東奥日報の取材に対し、次のように話した。

「朝に佐井を出発する便の乗船がほとんどない。冬場のように脇野沢発の形にできないか検討したい。」



シライン(株)の経営状況について報告する山崎社長（9月4日）

# 高齢者への見守りシステム 今の体制は不十分でないか

竹内典和委員

先日、社会福祉協議会へ見守りシステムの視察をした。説明を聞き、私なりに

計算してみると、最長で三十二時間連絡が取れない空白時間がある。（次ページ参考照）これでは見守っていると言えるのか。

確かに  
不十分  
である



毎日、「応答する」ボタンを押してもらい把握する

システムを24時間  
体制にすべき

前向きに考えていいたい。  
また、青森県社会福祉協議会で実施している二十四時間体制のシステムの活用についても精査していきた

竹内典和委員

システムを二十四時間体制にするとかなりの経費がかかると聞いている。

しかし、孤独死や事故を早く察知するためにもぜひやってほしいと思うが。

さまざま活用でき  
るはずでは

村長

今の体制では見守りシステムを必要としている方へ不安を与えてしまうため、

端末機を新たに設備するのでは経費がかかる。本来、この端末機はあらゆることに活用できるはずでなかつたか。

竹内典和委員

もう一度  
見直してみたい

村長

当初はそれを望みながら整備した。システムについてはもう一度見直しをしてみたい。

また、各町内会に隣近所への心配り、目配り、声掛けをお願いしている。

地域住民参加の  
見守りも実施

竹内典和委員  
予算措置をし  
システム作るべき

参事・住民福祉課長  
システムにも限度がある  
いにせず、見守るなら二十  
四時間やるべきである。

できないことを機械のせ  
いにせず、見守るなら二十  
四時間やるべきである。

年々高齢化が進み、今以  
上に福祉については考える  
べきだと思っている。  
少し時間をいただきたい。

少し時間を  
いただきたい

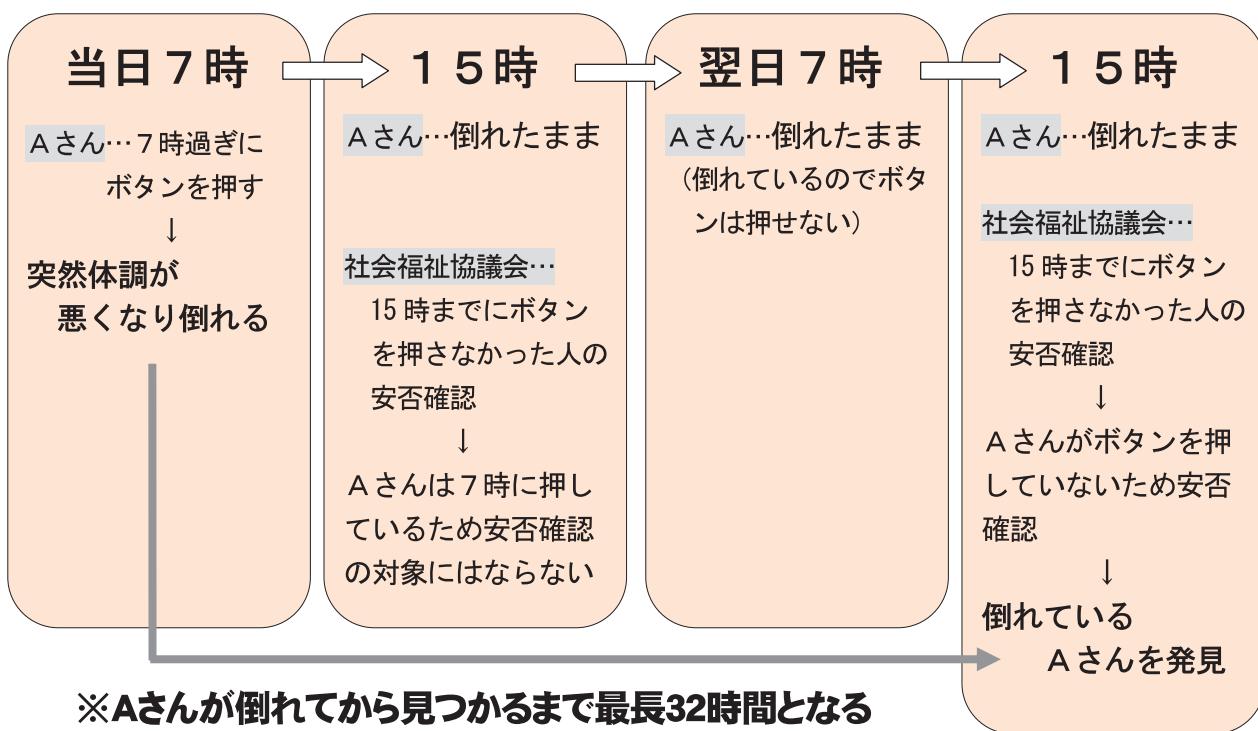


社会福祉協議会より一連の流れの説明を聞く（9月5日）

※参考

### 32時間の空白とは？

(例) Aさん…見守りシステムを利用している一人暮らしの80歳



産業建設課長  
新たな対策を検討中

下水道事業特別会計の決算を見るに、総額の約七十五パーセントが公債費、いわゆる借金の返還に使ったという内訳である。

村では、下水道加入世帯を増やすために啓蒙普及に努めることだが、具体的な対策は図られているか。

村で実施していた融資あつせん制度が本年三月をもつて終了したため、平成二十五年度から新たな対策を検討している。

接続費の一部補助、下水道料金の数ヶ月間の免除など、他県・他町村の事例も踏まえながら、今年度中に検討し来年度から実施したいと考えている。

それだけに固持していくことは加入率が上がらないのも事実である。

さまざまな加入促進対策を講じ、今の若い世代に将来の負担を残さないために取り組んでいきたい。

村長  
さまざまな対策を講じる  
加入しやすい環境を考え進めていく

村では高齢者の一人暮らし、二人暮らしが年々増加しており、各世帯の考え方もあり、加入率が上がらないのではないかと思つていいのか。

そういう部分を踏まえ、加入しやすいような環境を今以上に考えながら進めていきたい。

川岸委員  
過去との公平性は打破すべき

村長はよく、新しい対策を講じても先に繋ぎ込みした人の公平性を欠くといふことを話していたが、そこを打破していくなければ、対策も何も出てこないのでないか。

川岸委員  
思い切った対策で加入促進図るべき

このへんではやはり思い切った対策をしなければ、財政的な部分で影響が出る可能性もあると思うが。

今後村の人口は減少し、高齢者が増加していくれば加入率は増加しない。

# 進まない下水道の加入促進対策は



田中岩男議員



国道は低い所に位置しており、海のすぐ近くを通っている

**田中議員**  
原田地区を通る国道三三八号は、道幅が狭く大型車が交差できない状態である。また、国道は海拔二、三メートルの高さに位置しているため、有事の際に寸断

され、住民が混乱する恐れがある。  
有事の混乱を防ぐためにも、高橋農場から中道地区までの避難道を整備する必要があると思うが。

**村長** 道路確保は必要だが計画はない

確かに、津波の規模によつては国道が通行不能になる恐れがある。代替道路の確保が必要ではあるが、現在は計画していない。

**村長** 今すぐは無理だが考えていいきたい  
を立てなければならぬと思ふが。

住民のみなさんに安全・安心感を与えるのが我々の責務である。

原田地区内の国道は有事に限らず常に交通事故の危険性を抱えていることから、関係機関に改善を求めていきたい。

**田中議員** 早く計画しなければならないのでは

避難道兼生活道路として今一番早く整備できるのがスーパー農道と言われてい。住民が安全に避難できるよう、スーパー農道の整備など、行政として早く計画

# 代替道路のない原田地区 避難道を整備し有事に備えるべき



地区内の国道はせまく、センターラインがない

9月定例会

## 注目される再生可能エネルギー

## 風力発電の積極的な誘致を

村長——難しい部分もあるが積極的に取り組む

田中議員

東北電力佐井変電所は三

行政は積極的に取り組むべき

村における風力発電の設置環境は、適地と判断されているが、さまざまな法による立地規制があり、簡単に建設用地を確保することが難しい状況にある。

しかし、さまざまなメリットを踏まえ、風力発電の建設を積極的に働き掛けていきたい。

村長

多くの規制はあるが働き掛けしていく

村は、誘致の働き掛けをしているのか。

現在注目を集めているのは、風力発電や海洋発電であり、多くの民間企業が候補地を探していると聞いています。

昨年の福島第一原子力発電所の事故、また、定期点検による運転停止が各地で行われ、原子力発電所が稼働していない状態である。

は、風力発電や海洋発電で

あり、多くの民間企業が候補地を探していると聞いています。

田中議員

万三千ボルトの電流しか対応できないが、現在倍の六万六千ボルト対応にするため工事をしている。そうなると大手企業も風力発電の設置に動くのではないかと考えられる。行政には積極的に誘致に取り組んでほしいが。

企業にアプローチしていきたい

村としても期待しているところである。

積極的にさまざまな企業へこちらからアプローチしていきたい。



平成23年12月に村に設置された風力発電

## 議会傍聴アンケートの結果について

議会では、9月定例会の一般質問・追跡質問を傍聴した方にアンケート調査を実施しました。

## ●アンケート実施日 9月4日(火) 回収率 72.2% (18人中13人が回答)

○傍聴経験	今回初めて	3人	○認知方法	村内放送	10人
	何回か傍聴	10人	(複数回答)	サイバード	6人
	毎回傍聴	0人		その他	3人 (議会だより、町内会から)
○議員の質問	よく理解できた	1人	○村長の答弁	よく理解できた	4人
	理解できた	8人		理解できた	8人
	あまり理解できなかつた	3人		あまり理解できなかつた	0人
○議会活動	とても関心がある	3人	○今後の傍聴	ぜひ傍聴したい	3人
	関心がある	8人		傍聴したい	10人
	あまり関心がない	1人		傍聴したくない	0人

※みなさんからの貴重なご意見は今後の議会活動に参考にし、よりよい議会運営を目指し活動していきます。



山口捷夫議員

## 三月定例会での答弁「工事再開は問題ない」

# 村長の考えは今も変わりないか

村長——考えは変わっていない、事業者がどう判断し進めるか見守る

**山口議員**  
村長は、三月定例会での私の大間原子力発電所の工事再開の質問に対し、工事再開は問題ないと答弁していましたが、今もその答弁は変わらないか。

**村長**  
結論として変わっていない。  
住民の安心・安全の確保のため、県は避難道路の整備に着手し、事業者は施設の安全強化対策を実施しており、三月定例会で答弁したとおり、工事再開に問題はなく、事業者が今後どのように判断をし進めていくのか見守りたいと考えている。

**今後どう判断し進めめるか見守りたい**

**事業者から再開の要請はあったか**

**山口議員**  
三月定例会以降、事業者である電源開発㈱から、建設工事再開の要請はあったか。

**要請はない**

**村長**  
そのような話はない。

**要請がまだないことについて**

**山口議員**  
建設工事は事業者の自主的判断で休止している。

**村長から工事再開を強く要望すべき**

**会社の事情もあると思う**

**行政からどうでしようか**

ということはない。

**村長の考えをどう伝えるのか**

ただ、要請が来ればきちんと話を申し上げたいといふ思いである。

三月定例会での「説明会か広報で村長の考えを住民に示すべき」との質問に対し、村長は「それも一つの方法として考える」との答弁であったが、どのような方法で住民にそれを伝えるか、今現在考えがあるか。

八月七日に電源開発㈱本社社長が来庁し、議員にも説明したとおり、「工事再開については地元のご理解のもと、国のエネルギー基本計画の閣議決定をもつて判

断する」と話があった。私はとしても住民説明会を開き、工事再開に対する考え方を住民に十分に伝え理解を求めていきたいと考えている。

**自ら要望することは控えたい**

八月七日に電源開発㈱本社社長が来庁し、議員にも説明したとおり、「工事再開については地元のご理解のもと、国のエネルギー基本計画の閣議決定をもつて判斷する」と話があつた。

私はとしても住民説明会を開き、工事再開に対する考え方を住民に十分に伝え理解を求めていきたいと考えている。

**自ら要望すること**

**は控えたい**

**住民説明会を開く**

**村長**  
事業者が建設工事を再開すれば、すぐにでも要請すべきと考えるが、現在まで要請がないということについて村長はどう考えているか。

**山口議員**  
事業者が建設工事を再開し工事の完成を考えているのであれば、すぐでも要請すべきと考えるが、現在まで要請がないということについて村長はどう考えているか。



電源開発北村社長が村長及び議会議員へのあいさつに訪れた（8月7日）

9月定例会

早く説明会を開き  
協力求めるべき

一生懸命  
まい進していく

山口議員

事業者からの要請がいつ来るかわからないとしても、住民説明会を先に開き、村長の考え方を説明し、協力を求めることが必要ではないかと思うが。

村長

全くそのとおりである。

要請があるまで  
説明会は行わない

要請が来ない限りは住民説明会を開いて説明するつもりはない。

議会のみなさんと一緒に命道路の整備にまい進していきたい。

協定締結までに  
避難道の整備を

山口議員

工事が再開し発電所が完成しても、道路が通年通行できなければ村民の安心・安全は保障できないと考える。

そのためにも安全協定を締結する時までに、通年通行できる道路が完成しなければ協定はできないと強く要望してもらいたいと考えるが。

川岸議員

平成二十三年十二月定例会で、村で実施している健

(検) 診無料化についての質問に対し、今年度、国民健康保険加入者への特定健診及び各種がん検診の無料化を実施したことだが、その成果は。

医療においても全村民を平等に無料の対象としてはどうか。

現在の状況は  
昨年並みである

参事・住民福祉課長

特定健診は二地区がまだ未実施だが、現時点では昨年並みである。

平成二十三年度に社会保険から国民健康保険へ異動した方が多く、受診者数は増加するが、受診率はあまり望めないのでないかと思つて

全村民を無料の対象としては

対象としては

川岸議員

健康な体で生活することは村民全ての願いである。

財政事情は厳しい中ではあるが、検討、協議してみたい。

検討、協議してみたい

## 健(検)診無料化実施

# 今年度の受診状況は

追跡質問

# 青森市佐井村人会に参加して

総務産業常任委員会 委員長 山口捷夫

十月十四日、十五時から青森市にある労働福祉会館で青森市佐井村人会総会が開催されました。大堀会長と来賓で出席した太田村長、村議会を代表して私のあいさつに続き、計報告等のあとに、総会の場を借りて村人会長である大堀史光さんが本年、佐井中学校へステージのバック幕を寄贈したことに対し、村教育長表彰の伝達が行われました。

その後、懇親会に入り、出席者は会員十八名、村関係者四名合わせて二十二名と少人数でしたが、カラオケやゲームもあつたりと、和気あいあいに終始和やかな雰囲気で進められました。

大堀会長は、会員の高齢化が進むと同時に

総会では、大堀会長は、福浦の歌舞伎や商工会夏祭りなど、さまざまなものところで物心両面にわたってお世話になつております。紙面を借りてお礼申し上げます。

会の役員はじめ関係各位の御労苦に敬意を表し、会が今後ますます発展されることをお祈りして報告とします。

会員の減少対策や新規会員の入会について、会員の協力を得ながら会の運営を推進していくいたいと述べていました。

青森市佐井村人会には、福浦の歌舞伎や商工会夏祭りなど、さまざまなものところで物心両面にわたってお世話になつております。紙面を借りてお礼申し上げます。

## 町村議会広報研修会に参加 9月25日青森市

青森市「県共同ビル大会議室」において、町村議会広報研修会が開催されました。広報編集委員全5名が参加し、これからの議会広報づくりについて学んできました。

講師の株式会社ジエイクリエイト代表取締役社長 城市創氏が、「親しまれる議会広報づくり」と題し講演を行い、もっと多くの住民に読んでもらうため、原稿の書き方や編集作業、写真の撮り方・使い方などの基礎知識等をわかりやすく説明していただきました。



講師の城市 創 氏

### ～議会を傍聴しませんか～

9月4日（火）午後6時、残暑の厳しい折、夜間議会（追跡質問・一般質問）を18名のみなさんに傍聴していただきました。

第4回議会定例会は12月上旬開会予定です。

みなさんの議会傍聴をお待ちしています。

詳しくはサイボードでお知らせします。

